

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月17日

協議会名: 石巻～長渡航路確保維持協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>網地島ライン株式会社 石巻～長渡航路</p>	<p>①新造船の導入、航路と路線バスダイヤとの接続性向上により利用者にとって利便性の高い便数・ダイヤに対応してきているところだが、引き続き輸送人員及び交流人口の拡大に努める。</p> <p>②田代島(猫島)や網地島の白浜海水浴場等の観光資源を活用した誘客に取り組むとともに、夏季ダイヤの導入など需要に応じた運航による観光客の利便性向上により、輸送量の拡大を図る。</p> <p>③「石巻市総合交通計画」と連携し、航路と路線バス等との接続性を高めたところではあるが、更なる利便性向上に努める。</p> <p>④船員による日常的な船舶メンテナンスを徹底するとともに、燃料使用の抑制や事務所内の節電対策等により、運航経費の削減に努める。</p> <p>⑤自治体が進める観光施策や移住・定住施策等との連携を図りながら、航路利用の促進と情報発信に努め、交流人口拡大を促進する。</p>	<p>【前回の評価結果】</p> <p>・「石巻市総合交通計画」において、航路ダイヤを見越した路線バス運行ダイヤに変更する等、航路との接続性を高め航路利用者の利便性向上に努めたことを評価します。</p> <p>・路線バスの運行ダイヤを、航路ダイヤを見越した運行ダイヤへ変更したことについて、公共交通機関を利用して乗船する航路利用者へのヒアリング等の検証を行うことにより、必要に応じて更なる利便性向上に取り組み、航路利用者の増加を図ることに期待します。</p> <p>・観光協会等の関係機関と連携した観光資源PRを行い、航路利用者の増加に努めることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>・民間団体による「海の民話アニメーション」事業として、田代島にまつわる民話を題材としたアニメーション制作に、市、航路事業者、観光協会、地域が連携・協力して取り組んだ。制作したコンテンツは、観光PRに活用し、田代島の認知度向上を図ることで、来島促進および航路利用者の増加につながる取組を行った。</p>	<p>左記の「②事業概要」に記載した取組は、以下のとおり。</p> <p>①航路と路線バスの接続性については引き続き連携を図るとともに、島民等の意見を踏まえ便数・ダイヤの設定を行う等、輸送人員の拡大に取り組んだ。</p> <p>②アイランダー2025への参加やSNSを活用した観光・航路運航情報を積極的に発信し認知度向上を図るとともに、夏季繁忙期においては、夏季ダイヤを導入することで、観光客の利便性向上に努め、輸送量の拡大に繋がった。</p> <p>③船員、陸員それぞれが役割分担のもと、運航管理、船舶保守、事務対応等を適切に実施し、運航経費の削減を行った。</p> <p>④石巻市が県補助金を活用して作成した離島振興缶バッジ等を航路利用者に配布するなど、関係機関と連携した離島活性化の取組を実施した。</p>	<p>【年間利用者数】 目標 104,000 人 実績 109,863 人</p> <p>【達成状況】 達成率 105.6% (5,863人増)</p> <p>自社HP等による積極的な島内情報発信のほか、テレビ企画や国内外の方々のSNSによる情報発信等により、猫島(田代島)等の観光資源の認知度が向上したことが、国内外からの観光客の増加につながり、目標としていた利用者数を達成することが出来た。</p>	<p>近年の人件費や燃料費等の高騰により航路維持費用が増加している一方で、長い間運賃改定を実施していない状況にあることから、旅客運賃や自動車航送運賃等の運賃体系について見直しを進める。</p> <p>また、島民や観光客等の航路利用者の増加を図るために、島の観光資源を活用した誘客に向けて、自治体や関係機関と連携した取組を引き続き、推進していく。</p>
<p>【二次評価】</p>	<p>・自社HPでの島内情報の発信だけではなく、テレビ企画や国内外からの来島者によるSNS等情報発信により、猫島としての田代島をはじめ観光資源の認知度が向上したことで国内外からの観光客の増加につながり、目標としていた利用者数を達成することが出来たことを評価します。</p> <p>・航路維持費用が増加しているところ、旅客運賃や自動車航送運賃等の運賃体系について見直しを進めることに期待します。</p>				